

地域の危険度マップ

地域の危険度マップについて

この**地域の危険度マップ**は、字や町丁を単位とした地域ごとに分布する建物の特性（**建物の構造と建築年次**）に基づき、**揺れやすさマップ**に示した揺れの大きさによる建物全壊率（**地域内の全ての建物の中で揺れにより全壊する建物の割合**）を評価し、取りまとめたものです。

これは、過去の地震被害における全壊建物のほとんどが、建築基準法改正前の昭和56年以前に建築された木造建物であることに基づいています。したがって、古い木造建物が多い地域で、揺れが大きいほど相対的に危険度が高くなります。

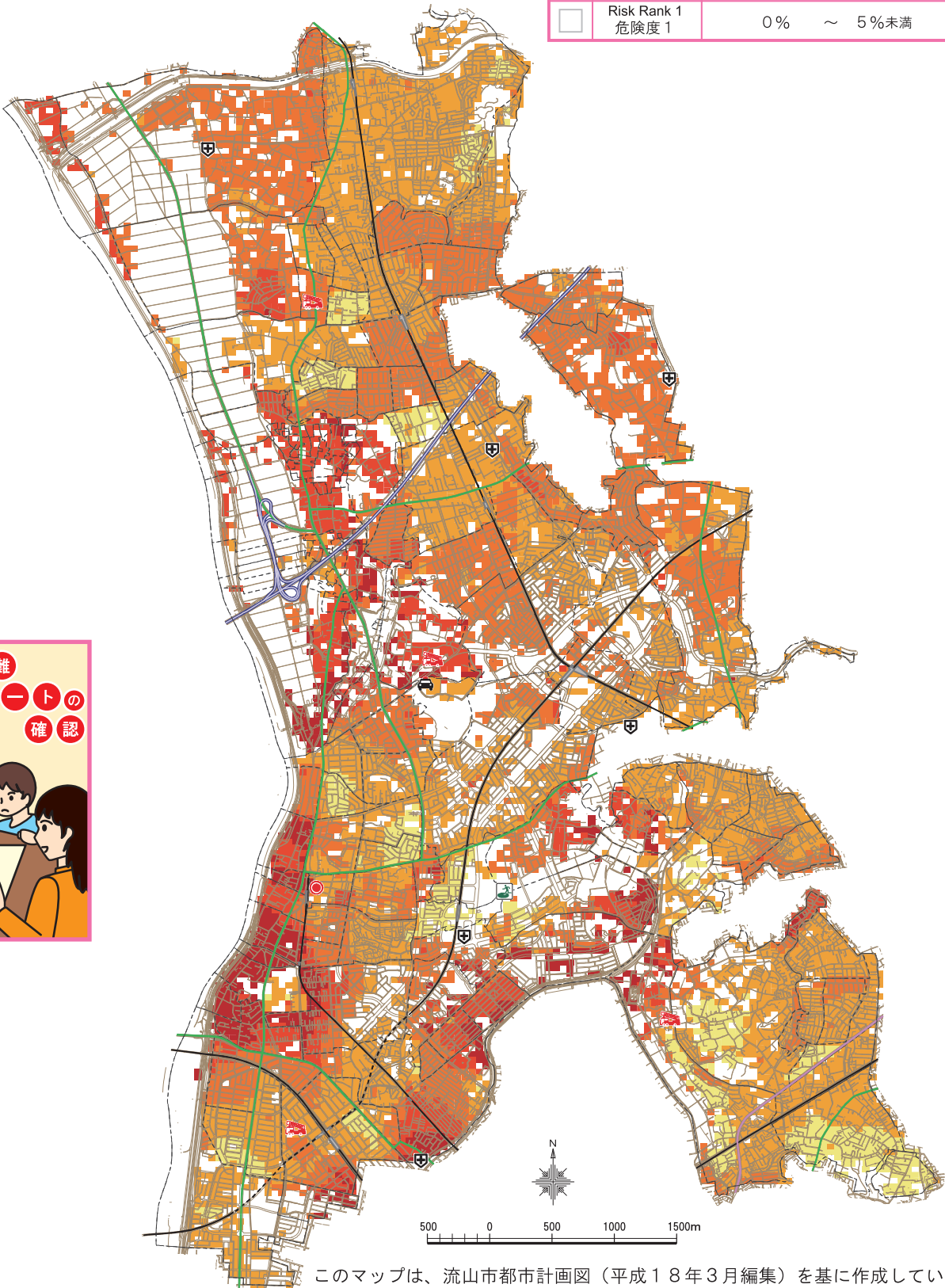
なお、この**地域の危険度マップ**は、地震による**個々の建物の危険度**を表したのではなく、**各地域の平均的な建物被害の危険性**を表示したものです。

建物の被害とは？

全壊	居住のための基本的機能を喪失した状態	 全体または一部の階が倒壊した状態
		 柱・梁の破損により、内部空間が欠損した状態
半壊	居住のための基本的機能の一部を損失した状態	
一部損壊	壁面の亀裂及び外装材、ならびに屋根瓦の剥落などがある状態	
無被害	被害が生じていない状態	



凡 例 Legend		
Rank of District Risk 地域の危険度ランク		Ratio of Buildings with Heavy Damage 地域内の建物の中で全壊する建物の割合
	Risk Rank 6 危険度 6	25%以上～
	Risk Rank 5 危険度 5	20%以上～25%未満
	Risk Rank 4 危険度 4	15%以上～20%未満
	Risk Rank 3 危険度 3	10%以上～15%未満
	Risk Rank 2 危険度 2	5%以上～10%未満
	Risk Rank 1 危険度 1	0%～5%未満



このマップは、流山市都市計画図（平成18年3月編集）を基に作成しています。